



Magtration System 12GC

Automated Nucleic Acid Isolation and Purification System

クイックマニュアル ~ Genomic DNA Purification ~

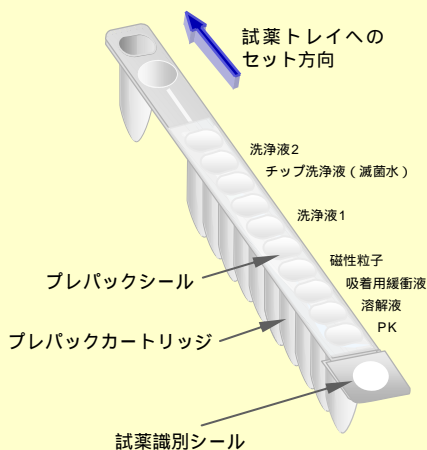


処理時間

全血からのDNA抽出：約40分



試薬 (Magtration® - MagaZorb® DNA Comon Kit 200 N : Code No. E2005)
ICカード (Magtration® - MagaZorb® DNA / Common : Code No. I-1555)



Check!!

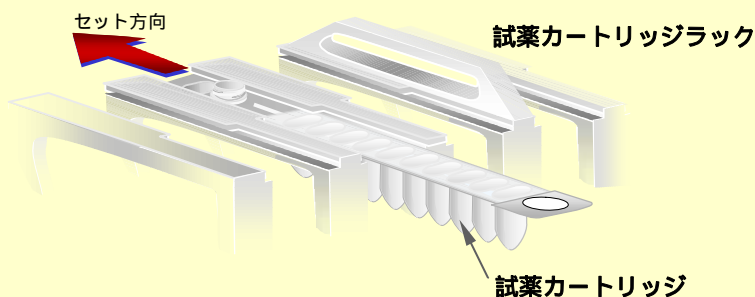
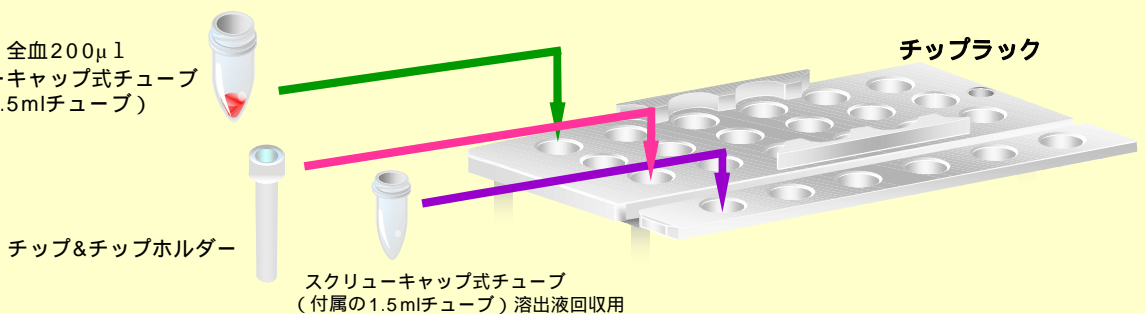
1. カートリッジ試薬に気泡が入っている場合は、軽くたたいて除いてください。気泡が入ったまま処理を行うと、試薬を完全に吸引できなかったり、攪拌時に泡立ちすることがあります。
2. シール部分やウエル内に試薬及び水滴の付着が見られる場合、軽く振って落として下さい。特に磁性粒子がウエルの壁面についている場合、泡立たないように転倒混和して壁面から剥がしてください。

本試薬は、室温 (20 ~ 30) にて保存し、高温多湿、及び振動のあるところは避けてください。また、アルミシールを上にして保管してください。



サンプル・消耗品のセット

サンプル：全血200 μ l
スクリーキャップ式チューブ
(付属の1.5mlチューブ)



* チップはチップホルダーに入れてからチップラックにセットしてください。
チップとチップホルダーは
キットに添付されているものをご使用ください。

* スクリューキャップ式チューブは、キット内のチューブを使用してください。
他のチューブを使用する場合は、
正しく抽出操作ができない場合があります。

* 試薬カートリッジを試薬カートリッジホルダーのセット方向に入れ、“カチッ”となるまで差し込んでください (試薬トレイに試薬カートリッジを入れ、試薬のラベル部を下方方向に押すとカチッと入ります)。



処理のスタート

ICカードがセットされていることを確認して下さい。()

1 2GC Plusの電源をONにします。

Menu画面で **START** キーを押す。

同時に自動的に原点復帰を行います

検体/溶出/試薬バーコードの読取の可否を選択します。

入力する場合は **START** キーを押す。

バーコードの入力については「GC Data Station Quick Manual」を参照してください。

入力しない場合は **START** キーを押す。

溶出液量を選択します。

SAMPLE 200ul
1: ELUTION 100ul
2: ELUTION 200ul
NEXT=1or2, Prev=ESC

START キーを押す。

START キーを押す。

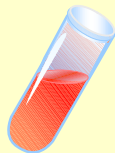
実行

* RUN終了後に
ピープ音が鳴ります。

ICカードの抜き差しは、本体の電源がOFFの状態で行ってください。
また12GC Plus専用のICカードをご使用ください。



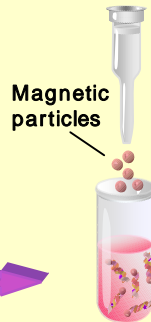
抽出工程 - Magtration -MagaZorb DNA-



血液



細胞溶解



磁性粒子表面へのDNA吸着



洗浄 (×2)



DNAの溶出

: 磁性粒子の磁気分離



トラブルシューティング

症状	原因	コメント
収量が低い	サンプルの状態	サンプルとして使用した血液の保存温度等に問題が無いかをご確認ください。また、サンプルは十分室温に戻してから抽出操作を行ってください。
	試薬の保管状態	試薬の保存温度・場所に問題が無いかをご確認ください。また、振動のある場所で保管をした場合、磁性体粒子の性能が落ちる可能性があります。過度の振動のあるところでの保管はさけて下さい。再調整したサンプル、新しい試薬で再度DNAを抽出してください。
	その他の問題	冷蔵保存の血液サンプルの場合、保存期間によって収量が減少する場合があります。
次工程での処理がうまくいかない	ターゲットサイズ	本試薬で抽出されるDNAの平均鎖長は20kb～40kb程度ですので一般的なPCRには特に問題はありませんが、ターゲットサイズにより増幅しにくいことがあります。
	抽出物の純度	サンプルの状態（保存期間、保存温度など）により、抽出液中の不純物が次工程へ影響を及ぼす可能性があります。
	その他の問題	PCRのpH条件によっては反応に影響が出る可能性があります。